

科目ナンバリング			U-LAS62 10001 LJ17										
授業科目名 <英訳>		森里海連環学Ⅰ：森・里・海と人のつながり Study on Connectivity of Hills, Humans and Oceans I :Symbiotic Relationship between Human and Nature					担当者所属 職名・氏名		フィールド科学教育研究センター 教授 徳地 直子 フィールド科学教育研究センター 教授 舘野 隆之輔 フィールド科学教育研究センター 教授 益田 玲爾 フィールド科学教育研究センター 教授 三田村 啓理 フィールド科学教育研究センター 教授 下村 通誉 フィールド科学教育研究センター 准教授 長谷川 尚史 フィールド科学教育研究センター 准教授 伊勢 武史 フィールド科学教育研究センター 講師 坂野上 なお フィールド科学教育研究センター 准教授 中野 智之 フィールド科学教育研究センター 准教授 甲斐 嘉晃 フィールド科学教育研究センター 特定助教 張 曼青				
群	統合科学科目群				分野(分類)		森里海連環学			使用言語		日本語	
旧群	B群	単位数	2単位		週コマ数		1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	金4			配当学年	全回生		対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]													
わが国は海に囲まれた森の国である。わが国の自然環境は、森林生態系、沿岸海洋生態系およびその間に位置し人間活動の影響を強く受ける里域生態系により構成されており、これらは河川などを介して相互に不可分に連環している。従来、生態系は個々のユニットごとに研究されてきたが、圧倒的な人間活動のインパクトは、個々の生態系の枠組みを超えて生態系間の循環に大きな影響を与えており、人類の持続的な生存のためには、複合的な自然生態系と人類との共存システムの解明が不可欠である。本科目は、森林から海につながる生態系と人間活動の影響に関する講義を通して、地球環境を「連環」という観点で捉え、森と里と海の連環機構の理解と適正な管理のための「森里海連環学」という新しい学問領域を学ぶ科目である。													
[到達目標]													
・ 個々の生態系が連環し相互作用する実態とメカニズムを学習し、人間活動による連環の分断の現状とその影響を理解する。 ・ 自然環境と生態系を自然資本と捉え、人類の持続的な発展に資する利用・管理方策を考える力を養う。 ・ 実社会における環境保全活動の実例を学ぶ。													
[授業計画と内容]													
1) ガイダンス「森里海連環学とは」 徳地 2) 流域の人間活動が河口・沿岸域の生態系に与える影響 山下（本学名誉教授） 3) 河川と沿岸域の生態系のつながり 山下（本学名誉教授） 4) 沿岸域から深海までのつながり 甲斐 5) 沿岸域生態系とその利用 益田 6) 沿岸域生態系と生物多様性 下村 7) 沿岸生態系とモニタリング調査 中野 8) 海洋生物の行動 三田村 9) 森林生態系の物質循環 舘野 10) 森林と環境問題 伊勢 11) 未来社会での森林資源利用 長谷川 12) 森林資源の利用と川・湖・海の役割 坂野上 13) 里域生態系 張													
森里海連環学Ⅰ：森・里・海と人のつながり(2)へ続く↓↓↓													

森里海連環学Ⅰ：森・里・海と人のつながり(2)

- 14) 森・里・海と人のつながり 田中（特定研究員）
15) フィードバック（フィードバックの方法は別途連絡）
講義の順番は変更されることがあります。

フィールド科学教育研究センターの教員および名誉教授によりリレー講義を行う。“生態系の連環”は新しい学問であり、受講生との論議等を通して新しい価値観の創造を目指す。講師1名が専門分野を中心にその周辺領域の課題について講義を行う予定であり、自然科学系の講義として森林、里域、沿岸海域の連環、同時に森林や海洋の保全やその意識などの社会科学系の講義を含んで構成される。

[履修要件]

全回生向け。スタート時点では特定の知識は必要ではないが、授業中必要になる知識については、自学自習を求める。

[成績評価の方法・観点]

毎講義後に理解度を評価するための小テストを行います。小テストの成績により最終的な成績を判定します。
期末試験は実施しません。
詳細は初回の授業で説明します。

[教科書]

講義に際して使用するテキストは、KULASISより事前にダウンロードしておくこと。

[参考書等]

（参考書）

京都大学フィールド科学教育研究センター『森里海連環学』（京都大学学術出版会）ISBN:978-4-87698-689-7-C3045

京都大学フィールド科学教育研究センター『森と海をむすぶ川』（京都大学学術出版会）ISBN:978-4-87698-575-3

石原正恵・赤石大輔・徳地直子編『「大学の森」が見た森と里の再生学』（京都大学学術出版会）ISBN:978-4-8140-0504-8

（関連URL）

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/>(フィールド科学教育研究センターHP)

[授業外学修（予習・復習）等]

参考文献を事前に勉強することを推奨します。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・環境問題は自然科学にとどまらず、経済、法律、社会と密接に関係します。理系・文系両方の学生の受講を歓迎します。
- ・夏休み期間中に、本科目をフィールドで体験的に学習する森里海連環学実習が開講されます。
- ・教室の定員を超える場合には履修（人数）制限を行います。無作為抽選により結果をKULASISで発表します。

[主要授業科目（学部・学科名）]